

## 秩父市 経営方針（久喜プラン）

秩 父 市 長

右肩上がりの経済が終焉を迎え、100年に一度と言われる未曾有の経済危機の中、秩父市の経済も閉塞感が漂う今日、私は多くの市民の皆さんから当市の市長としての負託を受けました。

この厳しい経済状況を乗り越えるには、今までと同じことを実行するのではなく、今までとは行政運営を抜本的に変える必要があると強く訴え、市民の皆さんからの共感が得られた結果、今の立場があると実感しています。

さて、これから臨む平成22年度予算は、私が市長として編成する初めての予算となります。そこで、今まで実施していたからという前例踏襲意識にとらわれず、改善改革を意識し、「変えない」行政運営から「変える」行政経営へと転換しなければならないと強く感じています。

そこで、私たちは、現在の経済危機を逆にチャンスと捉え、徹底的に無駄を排除し、当市の実情に即したスリムさと危機に対応する敏捷性を身につけ、当市を市民の皆さんが必要としているサービスを確実に提供できる自治体へと変えていかなければなりません。

さらに、合併後5年を経過しようとしている現在、すでに合併の仕上げに入らなければならず、これからの5年間は、合併効果を最大限に活用して体力をつける必要があります。そして今後は、定住自立圏構想と連携しながらの住民サービスの充実を実現し、秩父に住んでよかったと思えるまちづくりを展開していきます。

職員は、今、その資質が問われています。職員一人ひとりが市民の皆さんの目線に立ち考えるだけでなく、行政のプロとしての誇りを胸に、今まで蓄積した知識と経験を十分に発揮しなければなりません。

このような趣旨のもとに、私たちは、市民主体のまちづくりをめざして、改善改革をスローガンに、今まで以上に効率的で効果的な行政サービスを実施できる自治体へと変えていく、この第一歩が平成22年度予算編成であると考えます。

そして、平成22年度から25年度までの4年間で一つの区切りとして考え、この間の基本理念、基本姿勢及び基本方針を明らかにした上で、選択と集中により、年度ごとの重点施策を打ち出していきます。

なお、平成22年度の予算編成にあたっては、通達第1号「平成22年の予算編成方針について『変革への第一歩』～全職員一丸となった行財政経営の変革」に従い、財政面も考慮した上で、選択と集中を意識した予算要求を実施することとします。

## I 基本理念

～豊かなまち、環境文化都市ちちぶ～

医療、福祉をより充実させ、併せて地域の経済を活性化することで、体と心と生活を豊かにし、恵まれた自然と誇り高い文化を守り育む都市をめざします。

## II 基本姿勢

～市民と行政の協働によるまちづくりを実現します～

市民の皆さんとの協働のまちづくりを展開するために、職員は次のことを実践します。

- 1 市民主体のまちづくり基本条例を遵守します。
- 2 市民に十分な説明責任を果たし、積極的に情報公開を推進します。
- 3 市民の意見や提言を、まちづくりに反映するよう努力します。

## III 基本方針

- 1 安心できる医療と福祉の実現
  - (1) 地域で完結できる医療を可能にするまちをめざします。
  - (2) 高齢者の生活を地域で支え、生きがいを感じられるまちをめざします。
  - (3) 障がい者にやさしく温もりのあるまちをめざします。
  - (4) 子どもを安心して産み育てられるまちをめざします。
- 2 「人間力」と「基礎学力」を養う教育の実現
  - (1) 「夢」を描け「個性」を伸ばす教育を進めます。
  - (2) 社会に必要な豊かな「人間力」を培う教育を進めます。
  - (3) 確かな基礎学力が徹底的に身につく教育を進めます。
  - (4) 家庭や地域ぐるみで教育力の向上を進めます。
- 3 環境と経済の共生の実現
  - (1) 環境と経済の調和した、「環境立市秩父」をめざします。
  - (2) 企業支援と誘致を進め、「活力ある秩父」をめざします。
  - (3) 観光資源の発掘とおもてなし観光を推進し、「煌く秩父」をめざします。
  - (4) 農林業を活性化させ、「未来ある農林業のまち秩父」をめざします。
- 4 効率的で信頼される行政の実現
  - (1) 徹底した行政改革を実施し、効率的な行政を進めます。
  - (2) 職員は現場主義のもと、意識改革と能力開発を進めます。
  - (3) 健全な財政運営を実施し、信頼される行政経営を進めます。
  - (4) 満足感の高い、充実した市民サービスの提供を進めます。

## IV 平成22年度重点施策

### 1 安心できる医療と福祉の実現

#### ① 地域医療間連携の推進

地域の医療機関が相互に協力、機能分担しながら総力を結集し、地域全体がひとつの大きな総合病院として機能する「地域完結型医療」の実現に向けて、地域医療機関相互の連携を進めます。

#### ② 市立病院の機能強化

市立病院を真の中核病院とするべく、スタッフの確保、救急医療の拡充、医療器材の充実などにより機能強化を図ります。

#### ③ 子育て支援の充実

子育てに関する経済的負担の軽減などにより、子育て世代をこれまで以上に支援し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備します。

#### ④ 障がい者・高齢者福祉の充実

障がい者・高齢者が、住み慣れた地域でいきいきと心豊かに暮らせるよう、地域ぐるみで取り組めます。

### 2 「人間力」と「基礎学力」を養う教育の実現

#### ① 人間力の向上

時代を超えて変わらない道徳や良識を、歴史や武道などを通して学び、生活する上で必要となる豊かな人間力を学校、家庭や地域ぐるみで育てます。

#### ② 基礎学力の充実

小・中学校連携の推進や学力調査結果の活用等とあわせ、家庭学習を積極的に推進し、確かな基礎学力を養います。

#### ③ 健康と体力の向上

規則正しい生活リズムの育成、体育的活動や健康教育の充実により、子どもたちの健康の保持・増進を図ります。

### 3 環境と経済の共生の実現

#### ① 地域経済の活力創造

産学官連携や雇用対策を推進し、地域ブランド開発を含めた地域資源を最大限に活かした経済活力の向上を進めます。

#### ② 情報・交通網等の充実

それぞれの地域が輝きあい、どこに住んでも暮らしやすいまちづくりを進めるため、情報インフラや公共交通網のさらなる充実に取り組めます。

#### ③ 観光力の向上

地域の特性を活かした新しい観光資源の発掘と、都市住民交流等の新たな施策を展開しながら、今まで以上に観光力を上げていきます。

④ 森を守り、水を育む自然環境の創造

森林整備環境の向上や、環境市民会議の設置などにより、市民と市との協働による環境都市づくりを本格的に始動します。

4 効率的で信頼される行政の実現

① 財政健全化の推進

政策施策における選択と集中、ビルドアンドスクラップの徹底により、市財政の健全化を進めます。

② 定住自立圏構想の推進

必要な行政サービスを一体となり実施し、またお互いに補完し合う、合併によらない未来志向の広域行政を展開します。

③ 意識改革の推進

職員が専門性を高め行政のプロとして活躍できるよう、研修等の強化を図りながら、さらなる意識改革に努めます。